

真理の翼【78 回生】

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

今年度も進路関係の通信として、**2年生には「真理の翼」**を発行します。皆さんが翼を広げ羽ばたき、将来、日本や世界で活躍する神高生の姿を想像し応援する気持ちを込めています。78 回生の皆さんには、2 年生の段階で伝えたい進路関連の情報や連絡を掲載します。さらに保護者の方を対象とした案内や連絡なども掲載する予定です。この通信が家庭やクラスでの話題の 1 つとなり、78 回生の自己実現に繋がる一助となれば幸いです。なお神戸高校 Web ページの「進路資料室」にもこのプリントの PDF ファイルを置いていきます。

大学入学共通テストについて

2024 年 1 月 13 日(土)、14 日(日)に大学入学共通テストが行われました。出題傾向・形式については、昨年に引き続き大きな変化はありませんでした。共通テストの作成方針には、「**高等学校の段階において身に付けた基礎的な力を問う**」とありますが、ただ知識を丸暗記するだけでは太刀打ちできません。前出の方針には、「**深い理解を伴った知識の質を問う問題や、知識や技能を活用し思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題**」とあり、日常生活においてさまざまな現象に興味・関心を持ち、複数の教科にまたがって受け身ではなく自ら疑問を持って取り組み、探究活動を通して資料やデータを用いて考察・表現することが大切です。以下に文系科目の出題概要を掲載します。理系科目の特徴は第 2 号でお知らせします。

【世界史 B】

資料読解が多く、明らかに新課程を意識した出題。地図問題、配列問題は大きく減少。例年通り、初見資料の読解を通しての思考力を問う問題が出題された。問題数は若干減ったものの、史料の文章量は昨年同様のボリュームのため、読み込むのに手間取る。統計分析問題・整序問題は例年並みだが、地図から直接問う出題は無いが、位置関係が資料読解を助ける仕組みとなっていた。全体としては、単純に知識を問う出題も散見され、難易度は昨年並。

【日本史 B】

大問数、解答数に変更はなかった。8 世紀から明治にかけての印刷の変遷、古代の食物や調理道具など、日常生活に関するトピックから出題が展開。文章資料に加え、統計グラフ、写真など多彩な資料を通じ、読解力が引き続き求められた。受験生が苦手とする、時期の判断を要するものに加え、知識の定着を前提にした出題も多く、大量の資料読解に対して極力誤読を減らさなければならない。昨年よりやや難化。

【地理 B】

人文地理の問題はオーソドックスな問題で、骨太な問題は自然地理に多く、自然地理の知識が身につけていけば、80 点以上は容易であった。2025 年からは地理総合を踏まえていくことになり、防災、SDGs 関連の問題が多くなっていくことになる。しかしながら、基本的な事項に大きな変更はない。まずは自然地理の地形・気候について基本的な事項を理解し、それを人文分野にも当てはめて考えるようになって欲しい。今年、最近 10 年間で最も解きやすい問題で、昨年より易化。

【倫理政経】

倫理はほぼすべての大問で会話文ベースの出題が行われた。与えられた資料文の内容を十分に理解しないと答えられず、解答に時間がかかる問題も多かった。政経については昨年度と同じく細かい知識が問われていた。教科書の正確な内容の理解、基本的な知識問題の演習を繰り返しておかないと、解答に時間がかかったであろう。資料の読解力を問うタイプの問題も単純なタイプの問題ばかりで文章量が多く面倒ではあるがあまり難しくはなかった。難易度は昨年並。

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

【国語】

論理的文章は、昨年のように複数のテキストの複合的な読解が求められる問題ではなく、時間配分に困ることもなく取り組みやすかった。文学的文章は、比較的新しい現代小説で読みやすく、正答率も高かった。古文は、擬古物語風の歌文集からの出題で、文章読解と歌意解釈が求められた。漢文は、杜牧の詩とそれに関する資料の組み合わせで、資料の漢文はいずれも短く全体として例年よりも易しかった。昨年より易化。

【英語(リーディング)】

大問数 6、解答数 49、また全 6 大問全てで読解問題が出題されたことに関しては、昨年度からの変更はなく、文章の難易度も平年並み。素材文語数は約 4,900 語で、昨年度から約 400 語増加し、短時間で多くの情報を処理する速読速解力がこれまで以上に求められる出題となった。各大問ではチラシ、ブログ、アンケート、プレゼンテーション資料など、さまざまな媒体の読み取りが求められ、例年同様、イギリス英語特有の表現、スペルが含まれていた。難易度は昨年並。

【英語(リスニング)】

昨年度と比較して、出題形式、分量、難易度に大きな変化は見られず、音声 1 回聞き。アメリカ英語以外が含まれる点や、問題ごとに設定された場面、状況下で、与えられたグラフや表といった視覚情報に素早く目を通し、得た情報を総合的に判断する力は今年度も求められた。単に英語を聞き取ることができればいい訳ではなく、目的に応じた思考力、判断力が問われる内容になっている。音声語数は若干増加。難易度は昨年よりやや易化。

オープンキャンパス情報

ぜひ、オープンキャンパスに参加しましょう。大学の雰囲気を実際に体感することで刺激を受ければ、進路実現に対するモチベーションが上がり、学習効果もアップするはずです。各大学のホームページ等を見て、開催予定や開催方式をよく確認した上で、各自で申し込んでください。以下は 4 大学（東京・京都・大阪・神戸）の案内です。

東京大学

8月6日(火)・7日(水)にオンライン開催。実施要項は準備が整ったら HP に掲載されます。

京都大学

5年ぶりの全学部来場型企画。オープンキャンパス特設サイトは6月上旬に開設予定です。

定員上限がありますが、主な企画は8月8日(木)・9日(金)の2日間で、申し込み方法・内容詳細は随時公開されます。

大阪大学

キャンパス来場型とオンライン型を併用して開催。予約が必要なプログラムもあります。詳細は概要 HP の情報を更新していきます。

・薬学部：5月3日(金) ・人間科学部：6月下旬 ・外国語学部：7月6日(土) ・全学部：8月

神戸大学

主に対面での開催。詳細は随時更新され、現在、参加申し込み・受付期間は未定です。

- ・文学部：8月9日(金) ・国際人間科学部：8月9日(金)
- ・理学部：8月6日(火) ・医学部：8月8日(木)
- ・農学部：8月7日(水) ・海事科学部：8月8日(木)



4 大学の他にも、自分自身の興味のある大学の Web ページをこまめにチェックして、参加申し込みが遅れないようにしましょう！

〈保護者の方々にも読んでいただきますよう〉